NTT

マルチビジネスシステムαIX　技術基準適合認定品

客室電話機

取扱説明書

このたびは、マルチビジネスシステムαIX 客室電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書とともに必ず、マルチビジネスシステムαIXの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

⚠警告

●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を落としたり、破損した場合は、すぐに電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●本商品をぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となることがあります。

●万一、本商品内部に異物や水などの液体が入った場合は、すぐに電話機コードを電話機コード差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります）。

●本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電話機コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電話機コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

⚠警告

●お客さまが用意された機器に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お使いになる前に（設置環境）

⚠注意

●直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●本商品底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

お使いのとき

⚠注意

●本商品や電話機コードを熱器具に近づけないでください。本商品や電話機コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品に乗らないでください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●万一、本商品内部に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品を電話機コードから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

●お手入れをするときは、安全のため必ず電話機コードを電話機コード差込口から抜いてください。

取り扱いについて

STOP お願い

●ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●ハンドセットは逆方向に掛けないでください。正常に動作できなくなることがあります。

置き場所について

STOP お願い

●故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
- 製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
- 塵・ほこり・鉄粉・有害ガスなどが発生する場所。

●電気製品・ＡＶ機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

目 次

安全にお使いいただくために
必ずお読みください ……2

1 お使いになる前に

特長 ……7
各部の名前 ……8

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには……10
外へ電話をかける（外線発信）…10
内線へ電話をかける（内線発信）…11
電話がかかってきたときは（着信）…12
相手の方に待っていただくには
（保留）……13
電話を取りつぐには（保留転送）…14
他の内線電話機に取りつぐ……14
取りつぎを受ける……15

3 より便利に使う

モーニングコールを使うには……16
モーニングコールを設定する……16
モーニングコールに応答する……17
フロントメッセージに
応答するには……18
フロントメッセージの着信音が
鳴っているときに応答する……18
フロントメッセージの着信音が
止まったあとにフロントを
呼び出す……19
フロントからの音声メールを
再生するには……20
音声メール録音時の呼び出しに
応答して再生する……20
音声メール録音時の呼び出しが
止まったあとに再生する……21

4 ご参考に

システム設定によりご利用になれる
機能……22
付属品／オプションを
ご利用になるには……23
こんな音がしたら／
故障かな？と思ったら……24
各種機能を利用するための
特番一覧……25
索引……26
仕様／保守サービスのご案内……27

特　長

フロントを呼び出すことができるフロントボタン

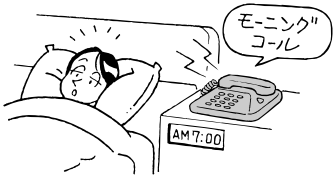
ハンドセットを上げ、フロントボタンを押すだけで、フロント電話機を呼び出すことができます。

フロントからのメッセージや音声メールの録音をランプで知らせることが可能

フロントからのメッセージが登録されたときや、音声メールが録音されたときは、メッセージランプが点滅し、フロントからのメッセージや音声メールがあることを知らせます。

モーニングコールの設定が可能

電話機からモーニングコールを設定することができます。設定した時刻になると呼び出し音が鳴り、呼び出しに応答すると、メッセージが流れます。また設定したモーニングコールの確認や解除も行えます。



お知らせ

フロントボタン等の機能ボタン（☛P8）は、「システム設定」によりボタンの機能を変えることができます。

ワンポイント

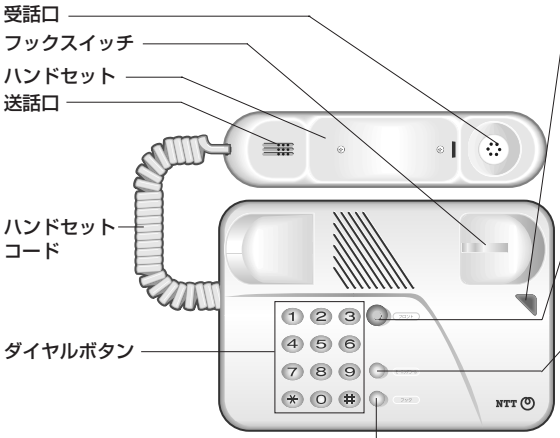
● **システム設定とは**

「システム設定」とは、本商品を設置する際に、さまざまな機能を登録・設定しておくことです。

「システム設定」を行いたいときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

各部の名前

【前面】（ワイドタイプ）



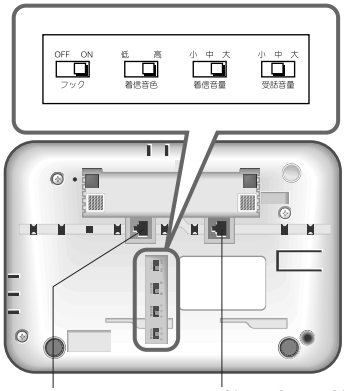
●客室電話機にはワイドタイプとスリムタイプがあります。

客室電話機（スリムタイプ）

お知らせ

機能ボタンは「システム設定」によりボタンの機能を変えることができます。また、機能ボタンCは本電話機底面の「フック切替」スイッチでもフックボタンに切り替えることができます。

【底面】（ワイドタイプ）



電話機コード差込口
電話機コードを差し込みます。

ハンドセットコード差込口
ハンドセットコードを差し込みます。

フック	着信音色	着信音量	受話音量
OFF: ON	低：高	小：中：大	小：中：大
機能ボタンCをフックボタンに切り替えます。	着信音の音色を切り替えるときに使います。	着信音の音量を切り替えるときに使います。	受話音量を切り替えるときに使います。

はお買い求め時の設定を示します。

電話をかけるには

客室電話機から外線、内線へ電話をかけることができます。

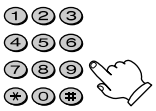
外へ電話をかける（外線発信）

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー･･･」という発信音を確認してください。

2 外線発信番号 ⓪ を押します。

「ツー」という発信音を確認してください。



3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

4 相手の方が出たら、お話しください。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

ハンドセットを上げたとき、「システム設定」によって次のどちらかの状態になります。

- 「ツーツー･･･」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる。（オフフック内線捕捉）
- 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる。（オフフック外線捕捉）

この取扱説明書では、さしつかえない限りオフフック内線捕捉の状態で説明をしています。
オフフック外線捕捉を設定しているときは、外線発信番号を押す必要はありません。内線に電話をかけるには手順2でフックボタンを押してください。

内線へ電話をかける（内線発信）

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー･･･」という発信音を確認してください。

2 内線番号をダイヤルボタンで押します。

3 相手の方が出たら、お話しください。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

電話がかかってきたときは（着信）

1 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

2 ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

電話機底面の着信音色切替スイッチによって着信音を変えることができます。

相手の方に待っていただくには（保留）

相手の方に待っていただくときは保留にします。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 フックボタンを押します。

「ツツツ･･･」という音を確認してください。
相手の方には保留メロディが流れます。

3 もう一度お話しするときは、フックボタンを押して相手の方とお話しください。

ワンポイント

●**「ツツツ･･･」という音が聞こえないときは**
手順2で、もう一度フックボタンを押してください。

お知らせ

●手順2でフックボタンを押したあとにハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを上げると外の相手の方との通話に戻ります。
●電話機底面の「フック切替」スイッチでフックボタンを使えないように設定しているときや、「システム設定」でフックボタンの機能を変えているときは、保留にすることはできません。

電話を取りつぐには（保留転送）

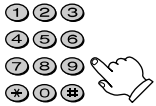
外の相手の方とのお話しや内線通話を他の内線電話機に取りつぐことができます。

他の内線電話機に取りつぐ

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押します。

「ツツツ･･･」という音を確認してください。
相手の方には保留メロディが流れます。

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。



3 取りつぎを受ける側の方から応答があったら、取りつぐことを伝え、ハンドセットを置きます。

電話が転送されます。

ワンポイント

- **取りつぎを受ける方がお話し中か、または応答しないときは**
  手順3でフックボタンを押します。もとの相手の方とのお話しに戻ります。
- **「ツツツ･･･」という音が聞こえないときは**
  手順1で、もう一度フックボタンを押してください。

取りつぎを受ける

1 呼出音が鳴ったらハンドセットを上げ、相手の方とお話しください。

取りつぐ側の方が転送操作をすると、外の相手の方とお話しできます。

2 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

- 電話機底面の「フック切替」スイッチでフックボタンを使えないように設定しているときや、「システム設定」でフックボタンの機能を変えているときは、保留転送することはできません。
- 「システム設定」により、ハンドセットを置いても電話が転送されないように設定することができます。その場合、手順3でハンドセットを置くと、内線でお話しした方に電話は転送されず着信音が鳴ります。ハンドセットを上げて応答すると外の相手の方との通話に戻ります。

モーニングコールを使うには

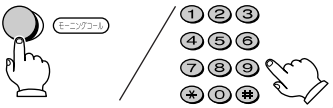
モーニングコールを設定、解除できます。また、現在設定されているモーニングコール設定時刻を確認することもできます。

モーニングコールを設定する

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー･･･」という発信音を確認してください。

2 モーニングコールボタンを押します。または ✱ ⓪ ⓪ [　　] を押します。

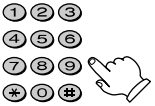


3 モーニングコール設定時刻をダイヤルボタンで押します。

午前7時30分のとき

⓪ ⑦ ③ ⓪

時(00～23)　分(00～59)
(24時間制)



4 ガイダンスが聞こえたら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

- **モーニングコール設定時刻を変更するには**
  もう一度はじめから設定し直してください。モーニングコールの解除を行う必要はありません。
- **モーニングコール設定時刻を確認するには**
  ハンドセットを上げて ✱ ⓪ ② [　　] を押します。設定時刻確認のガイダンスが聞こえます。
- **モーニングコールを解除するには**
  ハンドセットを上げて ✱ ⓪ ① [　　] を押します。モーニングコール解除のガイダンスが聞こえます。

お知らせ

- 設定できない時刻を設定したときは、「ブープー･･･」という話中音が聞こえます。ハンドセットを一度戻し、はじめから設定し直してください。
- モーニングコールが設定されていないときに、確認、解除操作をすると、モーニングコール未設定のガイダンスが２回聞こえたあと、「ブープー･･･」という話中音が聞こえます。
- チェックアウト後に、モーニングコールを設定、変更、確認することはできません。チェックアウトすると、自動的にモーニングコールは解除されます。
- お使いの状況により、ガイダンスのかわりにトーン音が聞こえる場合があります。(☛P24)

モーニングコールに応答する

1 設定時刻になると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

2 ハンドセットを上げます。

モーニングコール応答ガイダンスが聞こえます。

3 モーニングコール応答ガイダンスを確認したら、ハンドセットを置きます。

モーニングコールが解除されます。

お知らせ

- 「システム設定」により、モーニングコールに応答しなかった場合の再度モーニングコールをするまでの時間や呼出回数を変えることができます。
- お使いの状況により、モーニングコール応答ガイダンスが途中から聞こえる場合もあります。
- お使いの状況により、モーニングコール応答ガイダンスが保留音で聞こえる場合があります。（☛P24）
- モーニングコール応答ガイダンスを聞いている途中でも、ハンドセットを置くとモーニングコールは解除されます。

フロントメッセージに応答するには

フロントメッセージの着信音が鳴っているときに応答する

フロントから客室へメッセージなどがあると、客室電話機の着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間はハンドセットを上げるだけでフロントを呼び出せます。

1 着信音が鳴り、メッセージ（着信）ランプが点滅します。

2 ハンドセットを上げます。

客室電話機を呼び出したフロント電話機が呼び出されます。

3 フロントが応答したら、お話しください。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

電話機底面の着信音色切替スイッチによって着信音を変えることができます。

フロントメッセージの着信音が止まったあとにフロントを呼び出す

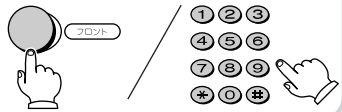
フロントメッセージが登録され、着信音が止まっているときは、フロントボタンを使って呼び出します。

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー･･･」という発信音を確認してください。

2 フロントボタンを押します。またはフロント呼出特番［　　］をダイヤルボタンで押します。

客室電話機を呼び出したフロント電話機が呼び出されます。



3 フロントが応答したら、お話しください。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

- **フロントメッセージを登録したフロント電話機がお話し中のときは**
  他のフロント電話機を呼び出します。

お知らせ

- 手順2で、フロント電話機の内線番号をダイヤルしても、フロントを呼び出すことができます。
- フロントからフロントメッセージが登録されると、メッセージランプが点滅します。
  「システム設定」により、メッセージランプが点滅しないように設定することもできます。ただし、メッセージランプの点滅を「なし」に設定した場合でも、着信中はメッセージランプが点滅します。

フロントからの音声メールを再生するには

客室電話機に録音された音声メールを再生することができます。

音声メール録音時の呼び出しに応答して再生する

1 フロントから音声メールが録音されると、着信音が鳴り、メッセージ（着信）ランプが点滅します。

2 ハンドセットを上げます。

録音されている音声メールの件数がアナウンスされ、録音された音声メールの再生が始まります。

3 音声メールを聞き終わったらハンドセットを置きます。

ワンポイント

- 音声メールがないときは、「メールがありません」というガイダンスが流れます。

お知らせ

- 音声メールの再生を行うには「システム設定」で設定する必要があります。
- 機能ボタンCで音声メールの再生を行う場合は、「フック切替」スイッチをOFFにし、「システム設定」で設定する必要があります。
- 「システム設定」により、音声メールが録音された着信に応答しなかった場合の再度着信するまでの時間を変えることができます。
- 音声メール再生中に「③」をダイヤルすると、再生中の音声メールを消去することができます。
  また、「✱ ✱」をダイヤルするとすべての音声メールが消去されます。
- 手順3で音声メールがすべて消去されている場合は、メッセージ（着信）ランプの点滅は消えます。
- 音声メールを聞いている途中でもハンドセットを置くことができます。
- フロント以外から録音された場合にも、音声メールを再生することができます。

音声メール録音時の呼び出しが止まったあとに再生する

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー･･･」という発信音を確認してください。

2 自メール再生特番⑨⑥⑨[　　]を押します。

録音されている音声メールの件数がアナウンスされ、録音された音声メールの再生が始まります。

3 音声メールを聞き終わったらハンドセットを置きます。

ワンポイント

- 手順2で自メール再生特番を押すかわりにフックボタン（機能ボタンC）を押すこともできます。

システム設定によりご利用になれる機能

客室電話機では、次の機能をご利用になれますが、「システム設定」によりご利用できないように設定することもできます。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

■システム設定により、客室電話機でご利用になれる機能

- ●内線、外線への発信
- ●フッキング（保留、保留転送、会議通話など）
- ●ダイヤル中特番
  - ・外線群指定発信
  - ・PBX形外線発信
  - ・再ダイヤル発信
  - ・短縮ダイヤル登録
  - ・共通／個別短縮ダイヤル発信
  - ・内線サブアドレス発信
  - ・通信クラス指定発信
  - ・ページング呼出、ページング応答
  - ・メール再生、メール送信
  - ・フロント呼出
  - ・モーニングコール設定、解除、確認
  - ・自メール再生
  - ・ホテル着信拒否設定、解除
  - ・清掃終了設定
  - ・ポケベル呼出解除、ポケベル応答

ワンポイント

● **システム設定で機能を変更したときには**
電話機には「フロント」「モーニングコール」「フック」の機能名が印刷してあります。システム設定で機能を変更したときには、付属のシールを貼り付けて、ご使用ください。

付属品／オプションをご利用になるには

短縮ダイヤルカード、短縮ダイヤルカードケースおよび短縮ダイヤルカードケースホルダは別にお求めください。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

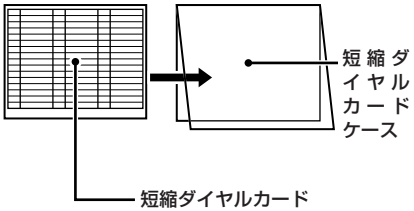
■付属品

●シール
機能ボタンA、B、Cの機能を変更したときに、電話機に印刷されている機能名の上に貼り付けてご使用ください。

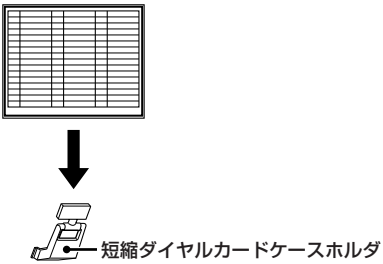
■オプション

●短縮ダイヤルカードを使う

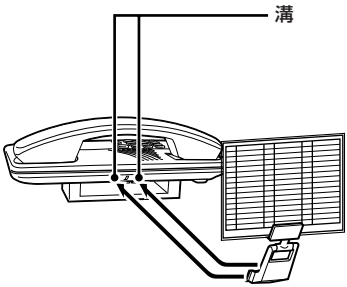
① 短縮ダイヤルカードに登録した相手先を記入し、短縮ダイヤルカードケースに入れます。



② 短縮ダイヤルカードケースを短縮ダイヤルカードケースホルダに入れます。



③ 短縮ダイヤルカードケースホルダのツメを、電話機背面の溝に入れます。
短縮ダイヤルカードケースホルダを取り外すときは、両側のツメを押さえながら、溝から引き抜きます。



■スリムタイプを壁にかけて使う

スリムタイプは壁にかけてご使用できます。
壁掛け用品は別にお求めください。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

こんな音がしたら／故障かな？と思ったら

こんな音がしたら／故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

■こんな音がしたら

ハンドセットを長時間あげたままにしておくとハンドセットから大きな音（戻し忘れ警告音）が出ることがあります。
このときはハンドセットをきちんと置いてください。

■故障かな？と思ったら

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
モーニングコールの設定／解除／確認の操作を行ったとき、ガイダンスのかわりにトーン音が聞こえる	音声メールを使っている人で混み合っている	しばらく待ってから、確認操作で設定した内容を確認してください	☛P16
電話がかけられない（フロントが呼び出せない）	ハンドセットが上がったままになっている	ハンドセットをしっかり置いてから操作してください	—
	電話機コードが抜けている	電話機コードを正しく接続してください	☛P9
モーニングコールの着信に応答したときガイダンスのかわりに保留音が聞こえる	音声メールを使っている人で混み合っている	故障ではありません	☛P17

各種機能を利用するための特番一覧

以下の機能にはあらかじめ特番が設定されています。「システム設定」により、特番を変更することができます。

■ダイヤル中特番

名　称	機　能	番　号
PBX形外線発信	PBXに接続されているとき、外線へ発信する	⓪ [　]
内線サブアドレス発信	着サブアドレスを指定してISDN内線へ発信することができる	⑨①② [　]
通信クラス指定発信	あらかじめ設定している通信クラスを選択しISDN回線より発信する	⑨①③ [　]
ページング呼出	グループの電話機および外部スピーカすべてを一斉に呼び出す	⑨③① [　]
ページング応答	ページング呼出に応答する	⑨③② [　]
メール再生	メールを再生する	⑨⑥⓪ [　]
メール送信	メールを送信する	⑨⑥① [　]
フロント呼出※	フロントを呼び出す	[　]
モーニングコール設定	モーニングコールを設定する	⑧⓪⓪ [　]
モーニングコール解除	モーニングコールを解除する	⑧⓪① [　]
モーニングコール確認	モーニングコールを確認する	⑧⓪② [　]
自メール再生	自分の音声メールを再生する	⑨⑥⑨ [　]
ホテル着信拒否設定	フロント以外からの着信について着信拒否を設定する	⑨②⑤ [　]
ホテル着信拒否解除	着信拒否を解除する	⑨②⑥ [　]
清掃終了設定	清掃終了を設定する	⑨④⑨ [　]
ポケベル呼出解除	ポケベル呼出の登録を解除する	⑨③⑤ [　]
ポケベル応答	ポケベルを呼び出した人を呼び出す	⑨③④ [　]

※ フロント呼出特番は、お買い求め時には設定されていません。必要なときは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

索 引

五十音

【ア行】
音……24
音声メール……20、21
オフフック外線捕捉……10
オフフック内線捕捉……10
オプション……23

【カ行】
外線発信……10
壁にかけて使う……23
故障かな？と思ったら……24
こんな音がしたら……24

【サ行】
シール……23
システム設定によりご利用になれる機能……22
受話口……8
仕様……27
スリムタイプ……8
送話口……8

【タ行】
ダイヤル中特番……25
ダイヤルボタン……8
短縮ダイヤルカード……23
短縮ダイヤルカードケース……23
短縮ダイヤルカードケースホルダ……23
着信……12
着信ランプ……8
電話をかける……10、11
　外へ電話をかける……10
　内線へ電話をかける……11
電話を取りつぐ……14
電話がかかってきたとき……12
電話機コード差込口……9
特番一覧……25
取り扱い……5

【ナ行】
内線発信……11

【ハ行】
ハンドセット……8
ハンドセットコード……8
ハンドセットコード差込口……9
付属品……23
フックスイッチ……8
フックボタン……8
フロントからの音声メールを再生する……20
フロントボタン……8
フロントメッセージに応答する……18
保守サービス……27
保留……13
保留転送……14
　取りつぎを受ける……15
　他の内線電話機に取りつぐ…14

【マ行】
メッセージランプ……8
モーニングコール
　モーニングコールを解除する…16
　モーニングコールを確認する…16
　モーニングコールを設定する…16
　モーニングコールを変更する…16
　モーニングコールに応答する…17

【ワ行】
ワイドタイプ……8、9

仕様／保守サービスのご案内

■仕様

	客室電話機（ワイドタイプ）	客室電話機（スリムタイプ）
外形寸法	幅約222mm × 高さ約82mm × 奥行約150mm	幅約150mm × 高さ約81mm × 奥行約222mm
質量	約550g	
使用環境条件	室温：5～35℃ 湿度：45～85% 結露のないこと	

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用·部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

＜NTT通信機器お取扱相談センタ：0120-109217（トークニイーナ）＞

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

注　意
本製品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE
This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

〈NTT通信機器お取扱相談センタ：0120−109217（トークニイーナ）〉

©1999 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本1834-3（99.9）
IX-HTELトリセツー〈1〉